

Sustainable Report No.140

# 観光客に魅力ある 奈良の街づくりへ

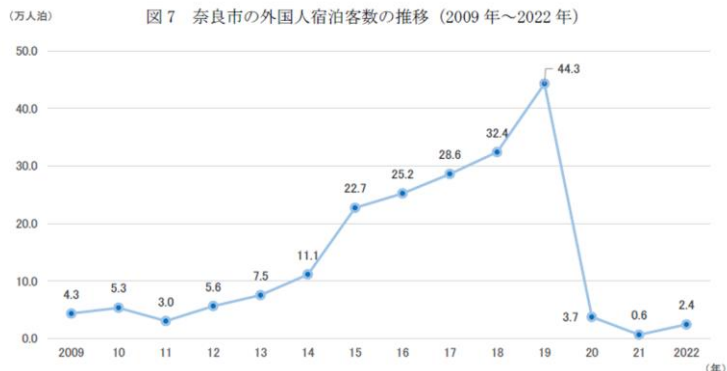


サステナブルレポートとは、サステナビリティを指標に社会課題や環境課題からテーマを選定し、それらの背景・ソリューション事例・将来への展望などを考察する独自の調査報告書です。  
小川電機グループは、全従業員ひとりひとりが本レポートを作成・発信する取組みを行っています。

## ■ 課題の現状／経緯／影響

- 奈良県の訪日外国人の**平均宿泊日数は全国最下位**で、コロナ以降でも平均1.1泊である。奈良市においては外国人の宿泊客数がコロナ前の2019年約44.3万人から2022年は約2.4万人まで減少してしまった。
- 夜も賑やかな大阪・京都と隣接している奈良は、**日帰り観光が主**となり、訪問者数に対して宿泊者数が少ない。
- 奈良市観光協会は、奈良ならではの**体験型教育旅行を推進**して、市が誇る1300年の歴史・文化をヒントに持続可能な地域社会の実現を目指している。

## ■ 奈良市の外交人宿泊客数の推移



出典：奈良市

## ■ 体験型教育旅行の推進



出典：奈良市観光協会

▶NEXT：監獄ホテルで歴史と文化に触れ合える新しい旅を

## ■ 実行者／解決方法／残る課題

- 株式会社**星野リゾート**は長野県に本社をおき、「リゾート運営の達人になる。」をビジョンに掲げ、日本の観光産業の発展に貢献することを目指している。
- 2026年春に国の重要文化財・**旧奈良監獄を活用した日本初のホテル**を開業予定。明治時代の五大監獄のひとつで唯一原型を留める近代建築。赤レンガづくりで歴史的価値が高く、意匠的にも優れる。
- 旅行者がブランドだけでなく**旅全体に納得**してお金を消費し、奈良に留まるかどうか注視される。店舗は閉店時間が早いので、夜間に歩ける街づくりとの連携やコンテンツ作りも必要ではないか。

## ■ 旧奈良監獄



出典：株式会社星野リゾート

## ■ ご当地おすすめ情報サイト「みちくさガイド」



出典：株式会社星野リゾート

▶NEXT：行政・民間企業・商店が手を組み魅力ある街づくりへ

■ 弊害の原因／理想／企業施策

- 夜間の観光コンテンツを施設単位で見れば設備など費用で解決できるが、繁華街など街づくりをするには事業者単体に限らない**地域内の協力体制の構築が難しい**。
- 連携する企業や商店が互いに持続可能な採算をとれる経営状態になることが理想である。それまでは、**協働する計画に対して補助金や助成金**が活発になるとよい。
- **同じ業態の事業者同士の連携**が阻まれないように、相乗効果のあるPRを行えばバランスよく成果を共有できるのではないか。

■ 観光振興事業費補助金

歴史的資源の宿泊等環境整備に対する支援  
**1 / 2 補助（上限2,000万円）**

歴史的資源を中核に地域資源を一体で活かす面的な取組や  
地域の賑わいを創る等歴史的建造物の改修、再建築、  
及び周辺環境の整備に対する支援  
**1 / 2 補助（上限20,000万円）**

出典：観光庁

本レポートをご覧いただき、ありがとうございました

## ■ 参照・引用資料

- 奈良市, 「2022年 奈良市観光入込客数調査結果について【市長会見】」, 2023年8月16日 (<https://www.city.nara.lg.jp/site/press-release/183111.html>)
- 奈良市観光協会, 「教育旅行をご検討の方へ」, 2024年3月26日参照 (<https://narashikanko.or.jp/school/>)
- 株式会社星野リゾート, 「星のや奈良監獄」, 2024年3月26日参照 (<https://hoshinoresorts.com/ja/brands/hoshinoya/sp/hoshinoyanaraprisson/>)
- 株式会社星野リゾート, 「みちくさガイド」, 2024年3月26日参照 (<https://hoshinoresorts.com/jp/guide/tag/walk/>)
- 観光庁, 「観光振興事業費補助金（歴史的資源を活用した観光まちづくり推進事業）の地域公募を開始します」, 2024年3月6日 ([https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05\\_000311.html](https://www.mlit.go.jp/kankocho/page05_000311.html))

## ■ サステナブルレポートに関するお問い合わせ先



### 小川電機株式会社

〒545-0021 大阪府大阪市阿倍野区阪南町2丁目2番4号

tel:06-6621-0031(代)

- 本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。
- 本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。
- 本レポートの配信に関して閲覧した方が本レポートを利用したこと又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。
- 本レポートに関する知的著作権は株式会社小川電機に帰属し、許可なく複製、転写、引用等を行うことを禁じます。